

令和元年度 福島県立石川支援学校 公開授業研究会



11月8日(金)、「知的障がいのある児童生徒における各教科や教科等を合わせた指導の充実を目指して～新学習指導要領を踏まえ、自立と社会参加に向けて児童生徒が何を学び何が身に付いたのかが明確になる授業づくり～」をテーマに、公開授業研究会が行われました。

午前中に小学部の生活単元学習、中学部の作業学習、高等部の国語と数学の公開授業が行われた後、午後には外部からの参加者も加わって事後研究会が行われ、活発な協議がされました。

その後、十文字学園女子大学 教授 中西郁氏を迎えて「新学習指導要領を踏まえ、児童生徒が何を学び何が身に付いたのかが明確になる授業づくり～各教科と自立活動の実態把握をもとにして～」という演題でご講演いただきました。各教科と自立活動の実態を踏まえて授業づくりをすることの重要性や、主体的・対話的で深い学びとなる授業づくりのために教科の「見方・考え方」を踏まえる必要性、三つの資質・能力の評価基準を設定するためのポイントについて、学習指導要領と公開授業の様子を基に大変分かりやすく話していただきました。明日からの授業に生かせる内容ばかりで、充実した研修会になりました。